

受験番号	
------	--

日本赤十字東北看護大学大学院
看護学研究科 看護学専攻 修士課程

令和8年度 I期 入学試験問題

【科目試験】

成育看護学分野 助産学領域

【注意事項】

- 1 制限時間は60分です。
- 2 問題文は、表紙を含めて全部で3ページあります。
- 3 受験番号は、この表紙と解答用紙の全てに記載してください。
- 4 質問があるときは、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙および問題文とも、持ち帰ってはいけません。

【問題1】 次の文章の()内に、あてはまる語句あるいは数値を記入しなさい。

- 1) (①)は健康の概念で、WHO の健康の定義とマズローの基本的欲求の 5 段階の影響を受けている。
- 2) 日本で行われている出生前診断には、(②)、(③)、(④)、(⑤)、(⑥)がある。
- 3) 合計特殊出生率は、(⑦)の女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。実際に一人の女性が一生の間に産む子どもの数を示すのは(⑧)合計特殊出生率である。
- 4) (⑨)には、児童福祉に業務上関連する団体や職務上関係のある者は、虐待の早期発見に努めなければならないと規定されている。
- 5) 日本における人工妊娠中絶に関わる法律には、(⑩)と(⑪)がある。
- 6) 妊娠中の内分泌系変化で妊娠初期に急増し、以降暫減するのは(⑫)である。
- 7) ヒトの染色体は(⑬)本あり、このうち(⑭)本は常染色体で男女共通である。男性は(XY)の 2 本、女性は(⑮)の 2 本の性染色体をあわせもつ。
- 8) 性感染症とは、(⑯)が原因となり、(⑰)などの皮膚・粘膜を通して、ヒトからヒトへ、(⑱)が感染することによって生じる疾患の総称である。
- 9) 乳幼児と母親ないし父親との親和的結びつきは、子ども側からは(⑲)、親側からは(⑳)という。
- 10) 閉経とは卵巣における卵胞の消失による(㉑)をいい、その判定は、月経が停止して(㉒)の無月経を確認して行う。
- 11) 閉経期のホルモンの特徴に、卵巣における(㉓)低下とフィードバック感受性の低下による(㉔)と(㉕)の上昇がある。

【問題2】 次の1)～3)を読み、問題に答えなさい。

- 1) 妊婦の仰臥位低血圧症候群について、機序・症状・対処を説明しなさい。
- 2) 褥婦の看護の要点とその理由について6つ説明しなさい。
- 3) 妊婦が注意すべき感染症を 17 種類列記し、それぞれについて説明しなさい。

【問題3】産褥3日目のAさん・28歳・初産婦、と新生児について、以下の事例を読み、1)～3)に答えなさい。

Aさん 妊娠から分娩、産褥1日目の状況

妊娠経過異常なく、妊娠39週2日で2,850g、アプガールスコア8点の女児を自然分娩した。分娩所要時間23時間10分。産褥1日目より母児同室、直接授乳をしている。

Aさん 産褥3日目の状況

夜間2時間毎に授乳して、疲れたと訴える。顔色不良、体温37.4度、脈拍76回/分、血圧134/88mmHg、子宮底長臍下2横指、子宮体部は柔らかく触れ、悪露は血性で凝血の混入なし。会陰切開部の発赤・腫脹なし。分娩後排便なし。乳房は軽く緊満し、Ⅱb型、乳管開通左右ともに5～6本、乳汁分泌100ml/日、乳頭の形は異常なし。Aさんは「ずっと赤ちゃんと一緒に眠れないし、どうしたらよいか分からない。」と訴えている。

出生後3日目のAベビー

体重2,650g、心拍数116/分、呼吸数40/分、体温37.0度、血清ビリルビン値16.3mg/dlである。哺乳状況良好。

- 1) Aさんの生殖器の復古についてアセスメントしなさい。
- 2) 優先度が高いと考えるケアについて2つ記述しなさい。
- 3) 出生後3日目のAベビーについてアセスメントしなさい。

日本赤十字東北看護大学大学院 令和8年度 I 期入学試験
科目試験（成育看護学助産学）解答

【問題1】 次の文章の()内に、あてはまる語句あるいは数値を記入しなさい。

25点 各1点×25

- 1) (① ウェルネス)は健康の概念で、WHO の健康の定義とマズローの基本的欲求の 5 段階の影響を受けている。
- 2) 日本で行われている出生前診断には、(② 超音波検査)、(③ 羊水検査)、(④ 絨毛検査)、(⑤ 母体血清マーカー検査)、(⑥ 無侵襲的出生前遺伝学的検査)がある。
- 3) 合計特殊出生率は、(⑦ 15 歳から 49 歳まで)の女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。実際に一人の女性が一生の間に産む子どもの数を示すのは(⑧ コーホート)合計特殊出生率である。
- 4) (⑨ 児童虐待防止法)には、児童福祉に業務上関連する団体や職務上関係のある者は、虐待の早期発見に努めなければならないと規定されている。
- 5) 日本における人工妊娠中絶に関わる法律には、(⑩ 刑法)と(⑪ 母体保護法)がある。
- 6) 妊娠中の内分泌系変化で妊娠初期に急増し、以降暫減するのは(⑫ ヒト絨毛性ゴナドトロピン; hCG)である。
- 7) ヒトの染色体は(⑬ 46)本あり、このうち(⑭ 44)本は常染色体で男女共通である。男性は(XY)の 2 本、女性は(⑮ XX)の 2 本の性染色体をあわせもつ。
- 8) 性感染症とは、(⑯ 性的な接触)が原因となり、(⑰ 「性器」または「口腔」または「肛門」)などの皮膚・粘膜を通して、ヒトからヒトへ、(⑱ 病原微生物(ウイルス性の性感染症を含む))が感染することによって生じる疾患の総称である。
- 9) 乳幼児と母親ないし父親との親和的結びつきは、子ども側からは(⑲ 「愛着」または「アタッチメント」)、親側からは(⑳ 「絆」または「ボンディング」)という。
- 10) 閉経とは卵巣における卵胞の消失による(㉑ 永久的な月経の停止)をいい、その判定は、月経が停止して(㉒ 12 か月以上)の無月経を確認して行う。
- 11) 閉経期のホルモンの特徴に、卵巣における(㉓ エストロゲン分泌)低下とフィードバック感受性の低下による(㉔ 黄体形成ホルモン LH)と(㉕ 卵巣刺激ホルモン FSH)の上昇がある。

【問題2】 次の1)～3)を読み、問題に答えなさい。50点

- 1) 妊婦の仰臥位低血圧症候群について、機序、症状、対処を説明しなさい。

15点(機序 5、症状 5、対処 5点)

機序:妊婦が仰臥位をとったときに、増大した子宮が下大静脈を圧迫し、静脈血の環流が減少、それに次いで心拍出量が減少して、突然血圧が下降することがある。

症状:そのため妊婦は、悪心、あくび、発汗、呼吸困難、動悸、心窩部圧迫感、不安、顔面蒼白などの症状を呈する。

対処:左側臥位など体位を変えさせれば症状はすぐに消失する。

2) 褥婦の看護の要点とその理由について6つ説明しなさい。18点 各3点×6

- (1) 子宮復古が阻害されないー子宮復古が阻害されると、感染症に罹患、疲労の蓄積など身体の回復にも支障を来す
- (2) 早期離床を促すー悪露の停滞を防ぎ子宮収縮を促進させることができる。妊娠中に弛緩した筋肉の回復のためにもよい。
- (3) 感染予防に努めるー悪露によって外陰部の清潔が保持されにくい。乳房の手当をするときも細菌の侵入を防ぐ必要がある。
- (4) 不快症状が軽減するー後陣痛、会陰縫合部痛、痔核、乳房トラブルは褥婦にとって生活する上で最も不快なものである。
- (5) 母乳栄養が確立されるー母乳は児に免疫力や栄養を与える。また児が吸啜する事は子宮収縮を促進する。母と児のスキンシップの機会となる。
- (6) 母親役割行動がとれるー表出的行動(スキンシップ、あやし)や道具的行動(おむつ交換、授乳)の両方がとれるとこれからの育児により影響を与える。

3) 妊婦が注意すべき感染症を17種類列記し、それぞれについて説明しなさい。

17点 各1点×17

●風疹(1点)

妊娠 20 週までに風疹ウイルスに感染すると、胎児に難聴や白内障、心疾患などを引き起こす可能性がある。妊娠中は予防接種できないので、妊娠前に風疹の抗体があるか調べるのが理想。もし妊娠中に「抗体がない(または少ない)」と分かった場合、妊娠 20 週までは人ごみを避ける。

●B型肝炎(1点)

感染者との性的接触によって、B型肝炎ウイルス(HBV)に感染すると発症。妊娠初期の血液検査で感染していることが分かった場合、出産してからすぐ新生児にワクチンを投与。

●C型肝炎(1点)

C型肝炎ウイルス(HCV)により発症。主に血液経由で感染し、肝炎から肝硬変、肝がんを引き起こすこともある。B型肝炎より感染力は低い、母子感染を起こす場合もあるので注意。

●ATL(1点)

HTLV-1(ヒト T 細胞白血病ウイルス)により発症する血液のがん。HTLV-1 は授乳により新生児に感染する可能性がある、抗体検査を行う。

●クラミジア(1点)

感染者との性的接触によって感染。女性は自覚症状がなく、知らずに感染しているケースが多い。妊娠初期に感染すると流産につながる危険性も。妊娠中に治療することで、出産時の新生児への産道感染を防ぐことができる。

●梅毒(1点)

感染者との性的接触によって感染。妊娠初期に血液検査で感染の有無を調べる。早期治療が可能。

●トキソプラズマ(1点)

トキソプラズマという原虫が口から感染することによって発症。胎児の先天異常や流産、早産の原因になるので早期治療が必要。予防策は、猫の大便処理後はよく手を洗う、生肉を食べない、ガーデニングで土を触るときは必ず手袋をする、野菜や果物はよく洗ってから食べる、など。

●サイトメガロウイルス(1点)

唾液や尿に多く含まれるウイルス。日常的に存在するウイルスだが、妊娠中に初めて感染すると、生まれた新生児にさまざまな障害を引き起こすおそれがある。低出生体重、黄疸、肺炎、肝臓の機能不良、長時間の発熱、脳の炎症等。幼児の唾液や尿から感染することがあり、乳幼児の世話をするときには、手洗いを徹底し、食器の共有を避ける。

●AIDS(1点)

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)により発症。母子感染を防ぐため、妊娠初期に感染の有無を調べる。

●流行性耳下腺炎(1点)

妊娠中の発症は重症化しやすく、妊娠初期は流産のリスクが高まる。先天異常や奇形の確率は少ないといわれている。

●水痘(1点)

水痘の予防接種は妊娠中に受けられない。ただ、9割以上の母親は子ども時代に感染して抗体を持っている。万が一妊娠中に感染すると、重症化しやすく、胎児に先天異常が起こることも。水痘にまだ感染したことがない妊婦は、妊娠期間を通じて人混みを避けるなど、感染経路をできるだけ断つようにする。

●麻疹(1点)

妊娠中に感染すると重症化しやすく、流産や早産を引き起こす場合も。周囲に麻疹にかかった人がいたら、絶対に近づかないようにする。胎児への感染の心配はないといわれている。

●りんご病(伝染性紅斑)(1点)

妊娠20週未満に感染すると、およそ30%の胎児に影響があり、胎児水腫や子宮内胎児死亡のおそれもある。ワクチンはないので、マスクや手洗いで予防を。

●インフルエンザ(1点)

インフルエンザウイルスは、母子感染しない。しかし妊娠中は免疫力が落ちていて重症化しやすい傾向がある。インフルエンザワクチンは妊娠中も問題ないと考えられているので、予防接種した上で手洗い、うがいで予防。もし発症しても、タミフルなどの抗インフルエンザ薬を処方。

●新型コロナウイルス感染症(1点)

一般的な感染対策(不要不急の外出を控える、マスク着用、頻回の手洗い・手指消毒、人混みを避ける、3つの「密」を避けるなど)を徹底。うがいにははっきりとした予防効果は認められておらず、特にイソジンの濫用は甲状腺機能異常をきたす可能性があるため推奨されません。妊娠中は重症化するリスクが高い可能性。正常の妊婦に共通して認められる心肺機能や内分泌機能の変化、血液凝固能の亢進といったことがこれらに寄与しているかもしれない。特に高齢(35歳以上)、肥満(BMIで30以上)、喫煙者、高血圧・糖尿病・喘息などの基礎疾患を持つ妊婦では重症化のリスクが高いことが報告されている。また妊娠後期に感染した場合、主治医の判断により帝王切開となる可能性がある。

産道感染が心配される感染症

●GBS(1点)

GBS(B群溶血性連鎖球菌)に産道感染すると、GBS感染症という疾患にかかる可能性があるため妊娠後期に検査。

●淋病(1点)

7割に自覚症状がない感染症。出産時に新生児に感染すると新生児結膜炎を起こして失明するこ

ともあるので注意。

【問題3】産褥3日目のAさん・28歳・初産婦、と新生児について、以下の事例を読み、1)～3)に答えなさい。25点

1) Aさんの生殖器の復古についてアセスメントしなさい。(10点)

退行性変化(5点)ー子宮底の復古に関して、産褥3日目の目安である臍下3横指ではないこと、子宮底部の触知結果、また悪露の性状をどのように統合させたアセスメントになっているか。

進行性変化(5点)ー乳房の緊満、乳管開通・分泌状態をどのようにアセスメントしたか。

2) 優先度が高いと考えるケアについて2つ記述しなさい。(5点)

退行性変化、特に「子宮復古の状態を異常」と判断していること、産褥3日目で、「排便なし」、褥婦の授乳に関わる「疲労」や「睡眠不足」を考えているか。分娩所要時間が長時間であったことの影響、またマタニティブルーズを考えているか、をポイントとする。

3) 出生後3日目のAベビーについてアセスメントしなさい。(10点)

生後3日目ベビー体重減少率7.02%の算出ができているか。またその理由が記述できているか。血清ビリルビン値の基準値15mg/dlを上回ることに記述しているか。バイタルサインズの数値、哺乳状態をどのように考えたか。